

定例会議の開催状況

第1 開催日時

令和7年1月16日（木） 午前10時～午後1時30分

第2 開催場所

公安委員会室

第3 出席者

1 公安委員会

上枝委員長、岡委員、大石委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、
首席監察官、地域監、警察学校長、通信庶務課長、総務課長

第4 委員説示

委員から、「昨年は、交通死亡事故死者数が、統計資料が残る昭和23年以降、最少タイの31人ということであったが、これは交通指導取締りなど、日頃の県警察の地道な取組の成果だと思っている。特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺被害については、全国的に増加しており、県警察としても様々な対策に取り組んでいることは承知しているが、引き続き、継続的な課題として対応に当たっていただきたい。今年は県内において、全国高等学校総合文化祭や瀬戸内国際芸術祭が開催されるほか、参議院議員選挙も予定されている。さらには、いつ南海トラフ地震が発生するかも分からない状況にあり、やるべき事は沢山あると思うが、引き続き、今年1年も県民の期待と信頼に応えるように、県警察としてベストを尽くしていただきたい」旨の発言があった。

第5 報告事項

1 11月県議会定例会等の開催状況について

県警察から、11月県議会定例会において、代表質問では「自転車の交通安全対策」等について、一般質問では「闇バイト」問題対策」等について、それぞれ質疑答弁が行われた。閉会日に、「令和6年度香川県一般会計補正予算議案」等の公安委員会関係議案は、賛成多数で原案どおり可決された旨の報告があった。

委員から、「議員からの質問内容は、県民の方が関心を持っていること

だと思う。11月県議会での議員からの質問内容は、県警察として取り組んでいることばかりだと思うが、引き続き、重点課題として対応していただきたい」、「若者が「闇バイト」に巻き込まれないように、より一層、力を入れた対応をお願いしたい」、「警察組織における優秀な人材の確保」という問題については、昨年の警察官採用試験では、教養試験や体力検査の成績だけではなく、事態対処能力や内面を評価するため面接試験の配点割合を大きくしたとのことであるが、多面的な評価という点で良い変更だったのではないかと思っている」旨の発言があり、県警察から、「県議会議員から質問がなされた「自転車の安全対策」、「優秀な人材の確保」、「闇バイト対策」、「SNS型投資・ロマンス詐欺対策」等、いずれについても、県警察として目下の重要課題と認識しており、県民の関心や心配が高まっているものと受け止めている。これらの課題については、引き続き、的確な対応に努めていく」旨の説明があった。

2 初任科第94期（長期課程）卒業式の挙行について

県警察から、初任科第94期（長期課程）12人は、県警察学校における10か月間の初任教養を修了し、本年1月28日に卒業する。卒業後は、警察署に配属され、採用時教養の一環として、職場実習を行う旨の報告があった。

委員から、「昨年12月、県警察学校を視察した際、今回卒業する長期課程の学生と話をする機会があったが、1年弱の間に、ここまでしっかり成長したのかと感心した。今回、卒業される学生には、今の気持ちや志を定年まで持ち続けていただきたい」、「県警察学校を視察した際、今回卒業する学生は、誰もが明るく生き生きとしており、活力に満ちていた。今後、一線の現場で実習が始まるようだが、様々な経験を積んでいただけたらと思う」旨の発言があった。

3 令和6年中の交通事故の発生状況について

県警察から、令和6年中の交通事故死者数は4年連続減少し、統計資料が残る昭和23年以降、最少であった昭和24年と同数である31人（前年比－2人）となった。また、全死者に占める高齢者、夜間、交差点の割合がそれぞれ約6割を占めた旨の報告があった。

委員から、「昔に比べて車の保有台数が増えている中、令和6年中の交通事故死者数が、統計資料が残る昭和23年以降、最少タイの31人であったことは、本当に素晴らしい成果だと思う。ここから交通事故死者数ゼロに近付けることは、さらに困難な課題だとは思いますが、引き続き、交

通事故抑止対策に取り組んでいただきたい」、「12月上旬に交通死亡事故が立て続けに発生した際、県警察が県民に警察官の姿を見せる活動を強化するなどの緊急対策に取り組んだことで、県民にとっても警戒心が高まり、結果として、非常に効果的な対策になったと感じている」、「交通死亡事故抑止に特効薬はないと思うので、引き続き、交通指導取締りや現在取り組んでいる施策等を地道に継続していただきたい」旨の発言があった。

4 令和6年下半期における小型無人機等の飛行に関する通報の受理について

県警察から、令和6年下半期に受理した小型無人機等の飛行に関する通報は、20件である旨の報告があった。

第6 決裁

- 1 苦情受理報告について
- 2 意見・要望等受理報告について

第7 その他

1 年末年始の県内の治安状況について

県警察から、「この度の年末年始は、去年の能登半島地震のような大きな地震や県内でも特段の重大な事件・事故もなく、比較的平穏に推移したと考えている。県警察としては、今年も各種事件・事故に的確に対応し、県民の安全・安心を確保すべく努力してまいりたい」旨の報告があった。

2 会計検査院実地検査の受検について

県警察から、会計検査院による実地検査を受検する旨の報告があった。

3 債権を放棄する議案の提出について

県警察から、交通安全施設棄損に伴う修繕立替金に係る債権について権利を放棄するため、地方自治法第96条第1項第10号の規定により議会の議決を求める旨の報告があった。

4 公安委員会に対する意見・要望等の受理報告について

県警察から、公安委員会に対する意見・要望等を受理した旨の報告があった。

5 運転免許の取消し等の審議について

県警察から、運転免許の取消し等に係る意見の聴取等について報告があり、審議の上、処分内容を決定した。